

ツシママルムネゴミムシダマシ♂の飼育記録

境 良朗

ツシママルムネゴミムシダマシ *Asialassus tsushimaensis* (Nakane, 1979)は、対馬特産のゴミムシダマシである（写真1）。♂は♀に先立って早春に現れ、短い期間で姿を消すと考えられてきた。これまで確認できた野外での終見日は次のとおりである。

- ・♂終見日 1♂, 対馬市上県町樫滝, 11. IV. 2004, 撮影
- ・♀終見日 1♀, 対馬市厳原町西竜良林道, 22. VI. 2017
1♀, 対馬市美津島町樽ヶ浜, 22. VI. 2019

筆者は杉憲氏採集の♂を2年に渡り飼育したが、いずれも夏季まで生かすことができた。飼育下の記録ではあるが予想以上の長命であったので記録しておく。

【飼育方法】

タッパー（60×75×30）の底にティッシュを敷き、餌として各種広葉樹の枯れ葉と昆虫ゼリーを適宜与えた（写真2）。時折霧吹きで水分を吹き付けるなど乾燥に留意した以外、特別なことは行っていない。

【飼育期間】

- ①2019年の記録 1. IV. 2019 ~ 24. VII. 2019 生存日数：115日
- ②2020年の記録 25. III. 2020 ~ 7. VIII. 2020 生存日数：136日



写真1 本種♂



写真2 本種♂

末筆ながら、毎年本種を提供頂いている杉憲氏にお礼申し上げる。杉氏は自宅敷地内で採集されている。

参考文献

秋田勝己・益本仁雄, 2016. 日本ゴミムシダマシ大図鑑, 181, むし社